

《 JSLN 公開研究会 》

今回の公開研究会は、会員の有志が中心となって進める科研費研究（研究種目：挑戦的研究／萌芽、研究題目：初等中等高等教育におけるパートナーシップに基づくサービスラーニングの実装化、研究期間：2021-2023年度）の一環で、2023年3月に訪問した、米国のインディアナ州・インディアナポリス市における調査内容の報告を中心に進められます。

インディアナポリスにはIUPUI（Indiana University-Purdue University Indianapolis、インディアナ大学－パデュー大学－インディアナポリス）というサービスラーニングでは先進校と目される大学があります。今回の調査では、同大学を中心に周辺の機関及び高等学校のサービスラーニングの取り組みを観察すると共に、関係者に意見聴取を行いました。

公開研究会の具体的な内容は、大きく3つに分かれます。第1に、「**日本語教育に係るサービスラーニングの取り組み**」と題して、IUPUI 日本語プログラムでご活躍をされている3名の先生（栗山恵子先生、Yurika Kono 先生、Izumi Tamagawa Harris 先生）にご登壇いただき、日本語教育と関わってサービスラーニングの実践をご紹介します。第2に、「**米国調査の内容**」と題して、立命館大学の山口洋典先生に、米国調査の様子についてご説明いただきます。そして、第3に、「**米国の実践に学ぶ日本のサービスラーニングの可能性**」と題してミニシンポジウムを実施し、米国調査に参加したシンポジスト3名が、そこで何を見たり聞いたりしたのか、さらに、米国のサービスラーニング実践に日本への示唆として何を感じ取ったのか、これらについてご意見をうかがい、参会者とともに、これからのサービスラーニングの在り方について考えていこうと考えております。

詳しくは、以下のとおりです。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

開催日時：2023年10月21日（土）9:00-12:00

開催方法：オンライン（Zoom）参加費無料

お申込み：下記のフォームに10月19日（木）までにお申込みください。←延長しました。

<https://forms.gle/YaA5Qa34v3wptjB19>

公開研究会プログラム：

9:00-10:00 **1 日本語教育に係るサービスラーニングの取り組み**

発表者：栗山恵子（熊本大学、前 IUPUI）、Yurika Kono（IUPUI）、

Izumi Tamagawa Harris（IUPUI）

10:00-10:30 **2 米国調査の内容**

発表者：山口洋典（立命館大学）

（休憩：10:30-10:45）

10:45-12:00 **3 米国の実践に学ぶ日本のサービスラーニングの可能性（ミニシンポジウム）**

コーディネーター：唐木清志（筑波大学）

シンポジスト：秋吉恵（立命館大学）、石筒寛（高知大学）、宮崎猛（創価大学）

問い合わせ先：

JSLN 研究部会（市川、川田、倉本）：k.Ichikawa@tokai.ac.jp